

平成27年度 第42回生



卒業おめでとう

今年は、男子1名、女子2名、計3名の卒業生を送り出すことになりました。
3年間よく学び、頑張ってきました。3名の今後の活躍に期待します！

卒業生の言葉

岩本 侃祐



三年前、僕はこれから始まる高校生活に対して希望と不安を持ち、この五木分校に入学しました。この三年間を振り返ってみると、楽しい思い出、つらい思い出と色々ありますが、その全てにおいて経験し学び考えて、人として少しずつですが成長することが出来たと思います。その成長は一人では決して出来ませんでした。どの思い出の中にも同級生、先輩、後輩、先生方、家族がいます。ここで改めて、この三年間自分は本当に多くの方々に支えられていたことを実感します。しかし、四月から僕も社会人です。まだまだ未熟ですので、家族や周りの人に迷惑をかけてしまうと思いますが、これまでの十八年間で培ってきたことを生かし、出来る限り自分の足で立っていきます。

在校生のみなさん、みなさんのおかげでとても楽しい高校生活が送れました。ありがとう。みなさんも四月になると立場が変わります。二年生は三年生へ、一年生は二年生となります。新二年生は新一年生が入学して来るので先輩という立場となり、これまでより少し大変になると思いますが、みなさんの明るい性格は周りの人を元気にしてくれます。みなさんの明るさでこれからも五木分校を活気のある学校にしていって下さい。新三年生のみなさんには、学校行事など色々な場面で支えてもらいました。そんなしっかり者のみなさんのことなので、あまり心配はしていませんが、何事も一人で抱え込むのではなく、周りの人にも助けてもらうことも大切にして下さい。

最後になりましたが、僕は五木分校に入学し高校生活を送れ、本当に良かったです。ここで学んだことを心に、これから社会人として頑張っていきます。本当にありがとうございました。

熊本県立人吉高等学校
五木分校
ニュース

卒業特別号
平成28年3月
編集発行
熊本県立人吉高等学校
五木分校



瓜生 せりな



この三年間、たくさんの人と話したりしてとても楽しかったです。三年間は辛いことなどもありました。一年の時は六人いましたが、学校を辞めたり不登校になったりする人がいて、二年からは三人で協力して頑張りました。

まず行事で一番思い出に

残っているのは、運動会のカラーガードです。たくさん練習して成功を収めることができた時はとても嬉しかったです。また、今年の五文祭では、大風の色を塗るのを手伝いました。当日は揚がりませんでしたが、全員で力を合わせて引っ張って少し浮いたと聞いたので、嬉しかったです。さらに、三年生は二年生の時に行った修学旅行のプレゼンテーションと、先生と一緒にダンスをしました。楽しい思い出ができました。

次に、委員会では、二年生の時に生活交通委員長と体育委員長の二つを任せられました。体育委員長は代理で当時一年生の足立さんが手伝ってくれました。二つも役割がありました。不安だらけでしたが、頑張っていました。少人数なので一人いくつか役割を持たされます。ですが、そのおかげで責任感を持つことができたので、とてもいい経験になったと思います。

五木分校での生活は、今までの学校生活で一番楽しかったです。辛いことや大変なことなど色々ありましたが、なんとか頑張ることができました。三年間、先生や在校生たちとたくさん話したりして本当に嬉しかったです。これからの五木分校で経験したことを生かしていこうと思います。

三年間、ありがとうございました。

椎葉 彩友美



私は五木分校に入学して三年間さまざまなことを学び、経験してきました。なかには五木分校だからこそ経験できたことも沢山あります。五木分校は人数も少なく、一人一人が沢山のカバーをしていかなければいけませんでした。でも、そのおかげで今まで自分がしたこ

とのない体験もできましたし、自分から進んで取り組むという積極性もついてきました。私は引っ込み思案で積極性が欠けていましたが、五木分校のおかげで少しでも力がつけられたと思います。

またこの三年間には色々な思い出があります。運動会や修学旅行など沢山の思い出がありますが、私の中で一番の思い出は文化祭の大風作りです。私は絵を描くのが好きで教室に入りきらないほどの大きな紙に絵を描くのは、とても楽しく夢のような感じでした。チョークでバランスを考えながら下書きをしたり、紙に思い切りスプレーしたりするのは、気持ちが良かったです。私は大風作りを一年生と三年生と二回経験させていただきました。とても貴重な体験だったと思います。

私は卒業した後は、福岡の専門学校へ行きます。そこで自分にしか描けないような絵を描けるイラストレーターになれるように頑張りたいと思います。またその時は五木村をイメージした絵を描きたいと思います。

在校生の皆さんも五木分校だからこそ学べることを、経験できることがあると思います。学んだこと、経験したことを力にしてこれからも元気いっぱい頑張ってください。

「二兎を追え」

校長 深水 裕二

卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。三年間の高校生活を振り返ると、その感慨もひとしおではないかと思えます。

有意義な高校生活を送ることができましたか？

無二の親友を得ることはできましたか？

自分の夢の実現に、一歩でも近づきましたか？

皆さん一人ひとりが、高校生活での掛け替えのない経験を自分の財産として、これからさらに活躍されることを心より願っています。

さて、「二兎を追う者一兎をも得ず」という諺があります。これは、欲を出して同時に二つのことをうまくやろうとすると、結局はどちらにも失敗する事の例えです。つまり、「欲張るな」「ひとつの事に集中せよ」という戒めだと思っています。確かに、あれもこれもと欲張り、すべての取組を中途半端なまま投げ出しているかもしれません。しかし、皆さんが分科で頑張ってきた姿を見ると、充分に「二兎を追う」ことができるのではないかと思います。皆さんの可能性は無限大です。様々な方面に色んな夢を持ち、「やれば出来るんだ」と自分を信じ、その実現のため計画的に努力を続けてください。そして卒業後も、同窓生の一員として、いつまでも分校を愛し、後輩たちにエールを送り続けてください。卒業生の皆さんの健闘を祈ります。

「人との絆を大切に」

副校長 永演 秀明

三年生の皆さん、卒業おめでとうございます。また、保護者の皆様には心よりお喜び申し上げますとともに、三年間の分校教育に御理解と御協力をいただきましたことに深く感謝申し上げます。

さて、皆さんとは三年前に一緒に分校にやってきました。三人という少ない人数で、何をやるにせよたいへんだったかと思いますが、皆さんは協力し合い、支え合いながら、五木分校の毎日を共に過ごしました。私は、そのことが一番うれしく思います。一年生の時はまだまだ頼りなかつた皆さんでしたが、二年生の後半から三年生にかけては、下級生を暖かく包み込み、リードしながら、いろいろな学校行事に頑張ってくれました。合同運動会や長距離走大会、文化祭、駅伝大会など、自分なりに目標を持って一生懸命に頑張る姿にはいつも感動させられました。ひたむきに取り組むことで、日に日に成長していく姿を見させてくれました。ありがとうございます。

いよいよ卒業すると、皆さんは新しい世界に飛び込みます。新しい人と馴染むまで、新しい生活に慣れるまではたいへんかと思いますが、でも、分校の生活がそうであったように、皆さんは新しい事態を受け入れ、適応し、丁寧にやり遂げる力が備わっています。五木分校で良い人間関係を作り上げて充実した日々を送ったように、また、新しく出会う人との良好な関係を築いて、これからの生活を充実させて欲しいと思います。皆さんの活躍を祈っています。

「J's HOMEにいた感謝」

教頭 坂本 道彦

岩本侃祐君、瓜生せりなさん、椎葉彩葉さん卒業おめでとうございます。また、ご家族の皆様におかれましては、これまでにいろいろな「苦勞」もあつたこと存じます。誠にありがとうございます。

さて、みなさんは、今までの風光明媚な五木分校の大自然に抱かれ、心豊かな人たちの中ですくすくと育ってまいりました。しかし、一歩外へ踏み出してみると、今まで当たり前であったことが当たり前でないことに気づかれます。他の人が自分よりできるように見えたり、迷いや不安がわき起こったり。今まで経験したことのないような苦しみや挫折も味わうことでしょうか。しかし、大丈夫です。あなたたちには、いつも優しく見守っていただけた担任の松山先生、いろいろな悩みを聞き相談に乗ってくれた永川先生、佐藤先生、本日の優しさとは何かを教えてください。一緒に考えてくれた西岡先生、樋口先生、わからない問題を優しく教えてくれた北崎先生、高村先生、上田先生、楽しさを教えてください。方々は皆さんを応援しています。自分一人だけで悩むことなく、いつでも相談に来てください。私もたった一年でしたが、皆さんと過ごすことができたことに感謝しています。この出会いに心から感謝しています。

「親の有り難さ」

主任事務長 宮原 和喜

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。本校での高校生活三年間は、どうだったでしょうか。きっと充実した日々だったと思います。勉強に、部活動に、たくさんの汗や涙、それらの一つ一つが良い思い出になることだと確信しています。また、保護者の皆様にとりましても、少し肩の荷が下りられて、ほっとされたのではないのでしょうか。

さて、私事ですが、私の親のことについて話をさせていただきます。私も遙か昔に本校を卒業しました。その後は地元私立大学に入学しました。希望した大学は全て落ち、滑り止めの大学でした。気合いの入らない大学三年間でした。そんな中でも、両親は、学費や仕送りをしてくださいました。我が家は決して裕福ではなく、父と母が一生懸命に働いて、本当に裸一貫で、自分達のことはさておいて、私と弟を育ててくれました。そんな、姿を見てみると、大学四年になって「これじゃいかん、今に見ている、俺だって」そんな気持ちがあふつくと湧きました。そして、今があります。

今日、皆さんは、保護者の方に感謝する日かもしれません。皆さんを一番いとおしみ、一番心配していただいた方に。「ありがとう」の一言を。これからは、皆さんの楽しいことや苦しいことがあるかもしれませんが、そつとあなたのことを見えています。それが「親」です。そんな、ひとりの親として、皆さんのこれからの活躍を応援します。

「二年間ありがとう」

松山 美沙代（三年担任・国語）

卒業おめでとうございます。二年前に愛情をもってご指導いただいた西岡先生から担任を引き継ぎ、皆さんとの分校での生活がスタートしました。真面目で控えめな第一印象とは裏腹に、授業や行事とおして皆さんの内に秘めた情熱や芯の強さ、ユーモラスな部分を垣間見ることができました。

さて、皆さんはこれから初めての経験ばかりで、しばらくは緊張や不安の日々が続くでしょう。私もそうでしたし、大人になった今でも同じです。でもそのようなとき、私を支えてくれる言葉が、「案ずるより産むがやすし」「人事を尽くして天命を待つ」です。「あれこれ心配するよりも思い切つてやれば、何とかなる。自分がやれるだけのことを精一杯やったら、あとはなるようになる」「そう思つて、目の前のことに精一杯取り組んでいけば、いつしか不安が希望に変わり、最終的には自信へとつながっていくのではないのでしょうか。

悩んだ時には、卒業アルバムを開いて分校での頑張りを思い出してください。成長した皆さんと再会できる日を楽しみに、私も頑張ります。たまには近況報告をしに分校に遊びに来て下さいね！待っていますよ。

「頼もしく成長した君たちへ」

西岡 泰伸（三年副担任・英語）

三年前の入学の時、私は担任として君たちを迎えました。期待よりも大きな不安を抱えた状態で、なかなか口を開けなかつた君たちも、時が経つにつれて分校での生活に慣れてくれました。二、三年生の間は、副担任という立場で見守りましたが、学年が上がるにつれて色んな場面で学校の中心として活躍してくれました。頼もしく育った君たちも、いよいよ社会に出て行きます。これから困難に負けず、明るく前へ進み続けて下さい。

高村 幹人（地歴・公民）

新しい門出に際し、三人の限らない前途を祝します。そして、健闘を祈ります。卒業おめでとう。

北崎 仁（数学）

岩本君、瓜生さん、椎葉さん。卒業おめでとうございます。私が五木分校に赴任した平成二十五年四月、皆さんも五木分校に入学してきました。それから三年経ち、三人は随分成長したように思います。特にそれを感じたのは、三年生での合同運動会でした。団長や体育委員長として、頼もしい活躍を見せてくれました。これから、さらに成長を続け、明るく元気にそれぞれの道を歩いて行つてください。

樋口 秀典（理科）

御卒業おめでとうございます。自宅から通塾する人もいますが、親元を離れて寮生活を送る人もいます。また一歩、自立して生活できる大人に近づいたと言えるでしょう。どんなに歳をとっても悩みは尽きないもので、これからも様々な悩み事が出てくると思います。一人で抱え込んでしまうと、何でもないような事でも大きく考えすぎてしまします。そんなときに相談できる家族や友人がいてくれると何かと心強いものです。そのような家族・友人を大切に生きていきましょう。

竹永 大（保健体育）

卒業おめでとう！たった一度きりの人生、悔いなく楽しんでください。精一杯働いたら、精一杯遊びましょう。何事もバランスが大切です。

佐藤 喜美（国語・芸術）

ご卒業おめでとうございます。授業で教室を訪れる度に、ほんわかとした陽だまりのような雰囲気を感じ、皆さんの人柄を表しているようなとても温かいクラスでした。これからはそれぞれが自分の目標とする道へ進みます。皆さんの人々を思いやることの出来る優しさを大切に、家族への感謝も忘れず、高校生活で学んだ様々な経験を活かし、新たな場所でも力強く歩んでいって下さい。

上田みな子（家庭）

卒業おめでとうございます。みなさんの明るい雰囲気のおかげで、楽しく授業を行うことができました。特に実習では協力し合う様子が素晴らしく、印象に残っています。今後の活躍を期待しています。

永川 奈々（養護教諭）

ご卒業おめでとうございます。この高校生活を通じ、みなさんが得た友人や皆さんを支えてくれた人々との絆、たくさんの思い出や学んだことは宝物となって、皆さんを支えてくれるものを信じています。夢と自分らしさの輝きを忘れず、元気に歩いていってください。

松江 和人（事務）

三年生が分校に入学したのと同時に、私も分校に赴任してきました。もう三年経つたのです。まだあどけなさが残る顔で迎えた入学式が昨日のことのようです。私もみんなも分校で三年間育ててもらい少しずつ成長できたと思います。ただ、僕よりも卒業生三人の方が大きく進歩できたのではないのでしょうか。なぜなら、三人は今が一番心身共に色々なことを吸収できる時期だからです。自分の知らない世界、出会ったことのない人、そして新しい自分を見つけてください。三年間ありがとう。卒業おめでとう！

竹村 愛（技師）

三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。普段は大人しい皆さんでしたが、行事等では生徒代表として、しっかりとした姿で、さすが上級生という印象がありました。次のステップは、また一年生になりますが、これから先、色々な一年生を経験します。常に「真剣に」でも、「楽しむ！」ことも忘れずに、そして「悩む」のではなく、「考えて」自分の意志を持った大人に成長されることを心より願っています。

Tyrica Foster (ALT)

Kanyu, Serena and Shiba:

Congratulations on your graduation. I have enjoyed getting to know you and teaching you all.

I wish you the best in the future. I am very proud of you and know you all will succeed in life.

侃祐君、せりなさん、椎葉さん

卒業おめでとうございます。みんなと知り合って授業をすることができて、楽しかったです。みんなが将来、幸せになることを祈ります。みんなをととても誇りに思い、きっと成功すると信じています。

